



第125期 株主通信

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

私たちのミッション

技術力で価値を創造し、
より豊かな社会の発展に貢献する。

私たちは、お客様からのニーズを原点に、培ってきた技術を究め、融合させることで、価値ある製品を広く提供し、持続可能な社会の実現に貢献し続けていきます。

私たちのビジョン

キラリと光る、価値ある企業グループ

社員一人ひとりが自分の仕事に自信と誇りを持ち、成長を実感しながら、関わる全ての人の満足度を追求することで、社会においてキラリと存在感が光る、価値ある企業を目指します。

私たちが大切にする価値観

誠実であること
Sincerity

奉仕すること
Service

協力すること
One-NCI

創造すること
Innovation

代表取締役社長
杉山 孝久

「キラリと光る、価値ある企業グループ」を目指して

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめに、本年1月の能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

ここに、当社グループ第125期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、先進国におけるインフレ抑制のための利上げ政策の継続や、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、原燃料価格の高止まり等もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

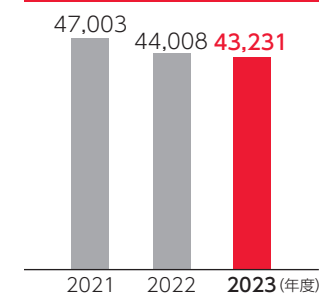
当社グループの事業では、電子・機能製品は、一昨年後半からのエレクトロニクス市況低迷により、半導体及び電子部品向け製品の出荷が減少しました。フィルム・シート製品は、欧米や中国での自動車販売台数の回復により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加しました。建材関連は、原材料価格の上昇に応じた価格改定などにより、収支が改善しました。エンジニアリングは、受注の減少や完工遅れにより、売上が減少しました。

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高は前期比777百万円(1.8%)減の43,231百万円、営業利益は前期比412百万円(32.7%)減の849百万円、経常利益は前期比329百万円(17.3%)減の1,573百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比667百万円(200.8%)増の999百万円となりました。

業績ハイライト

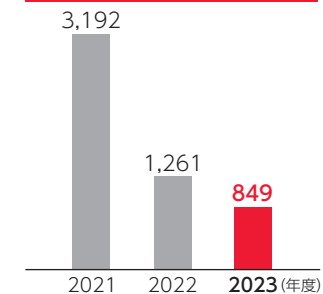
売上高

(単位：百万円)

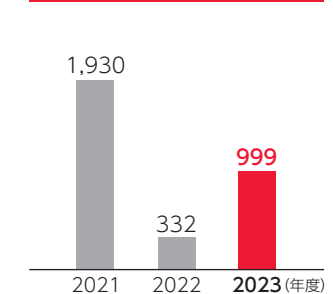


営業利益

(単位：百万円)

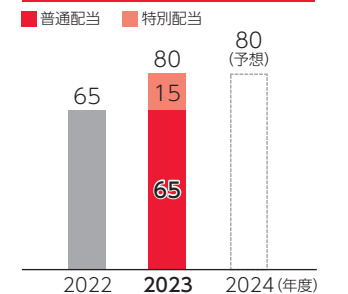
親会社株主に帰属する
当期純利益

(単位：百万円)



1株当たり配当金

(単位：円)



当社は、将来の成長に向けた事業改革を推進し、経営環境の変化に迅速に対応できる企業を目指していくとともに、株主の皆様への利益配分を重要な責務と考え、長期安定的な配当を実現することを基本方針としております。当期の配当金につきましては、上記基本方針に基づく普通配当に、特別利益の計上による一時的な収益に対応する還元として特別配当を加え、1株当たり年間80円(特別配当15円含む)とさせていただきます。

2024年度の経済環境は、欧州・中東における地政学リスクの更なる高まりや、中国の景気低迷などにより引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

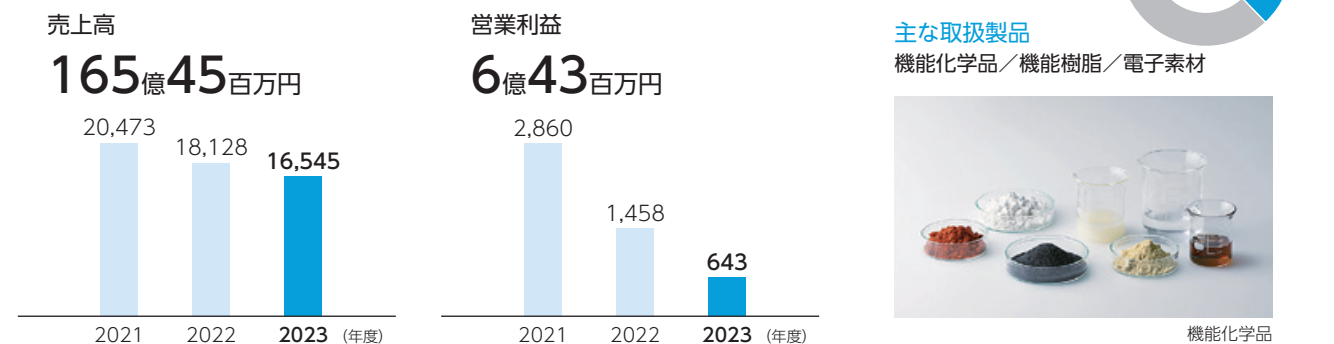
このような状況のもと、通期の連結業績につきましては、売上高50,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円を見込んでおります。

次期の配当金につきましては、上記基本方針並びに今後の事業展開及び内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり40円の間配当金を含め、1株当たり80円の年間配当金とさせていただきます予定であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

電子・機能製品

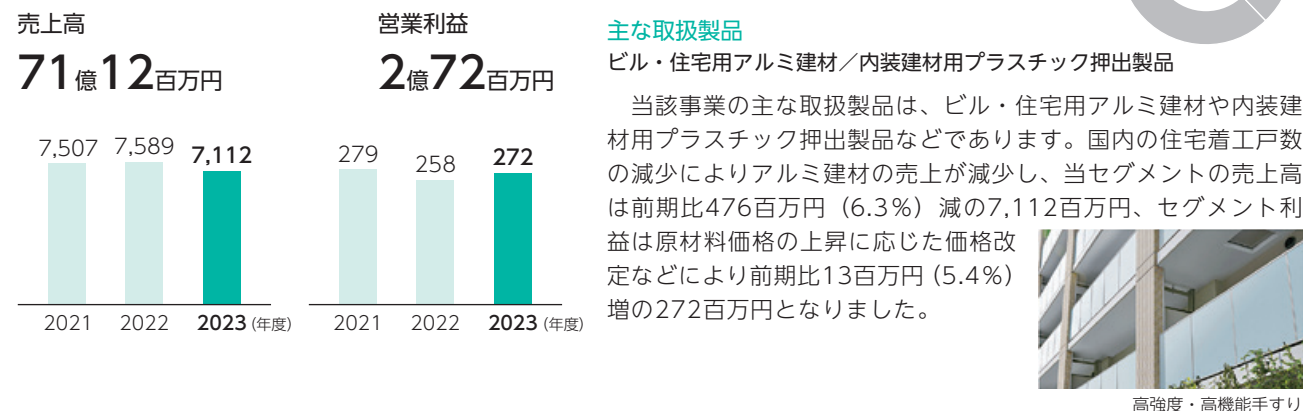


当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬、医農薬中間体などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、一昨年後半からのエレクトロニクス市況低迷により、半導体及び電子部品向け製品の出荷が減少し、前期比減収減益となりました。機能樹脂は、電子部品向け製品の出荷が減少したものの、原材料価格の上昇に応じた価格改定により、前期比減収増益となりました。電子素材は、パソコンやサーバー、通信機器などの電子部品向け高付加価値品の出荷減少に加え、半導体用金型クリーニング材の出荷が減少し、前期比減収減益となりました。

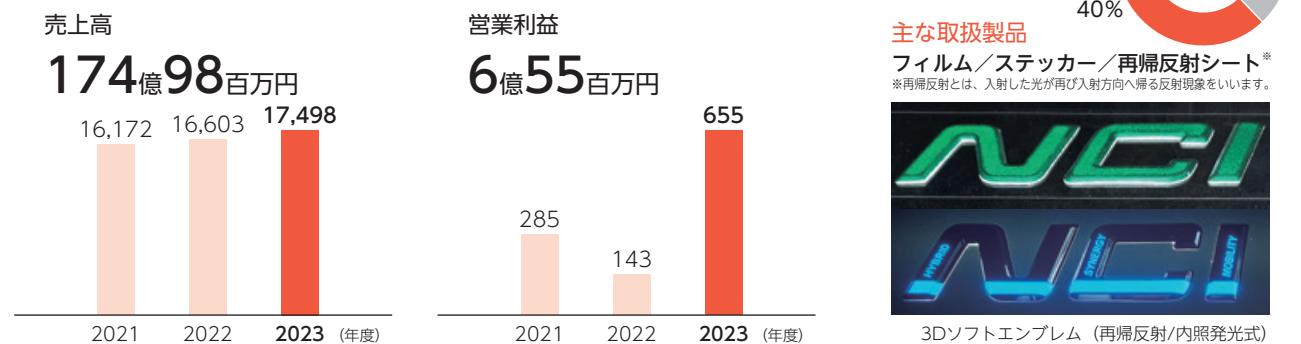
以上により、当セグメントの売上高は前期比1,582百万円（8.7%）減の16,545百万円、セグメント利益は前期比815百万円（55.9%）減の643百万円となりました。

建材関連



当該事業の主な取扱製品は、ビル・住宅用アルミ建材や内装建材用プラスチック押出製品などあります。国内の住宅着工戸数の減少によりアルミ建材の売上が減少し、当セグメントの売上高は前期比476百万円（6.3%）減の7,112百万円、セグメント利益は原材料価格の上昇に応じた価格改定などにより前期比13百万円（5.4%）増の272百万円となりました。

フィルム・シート製品

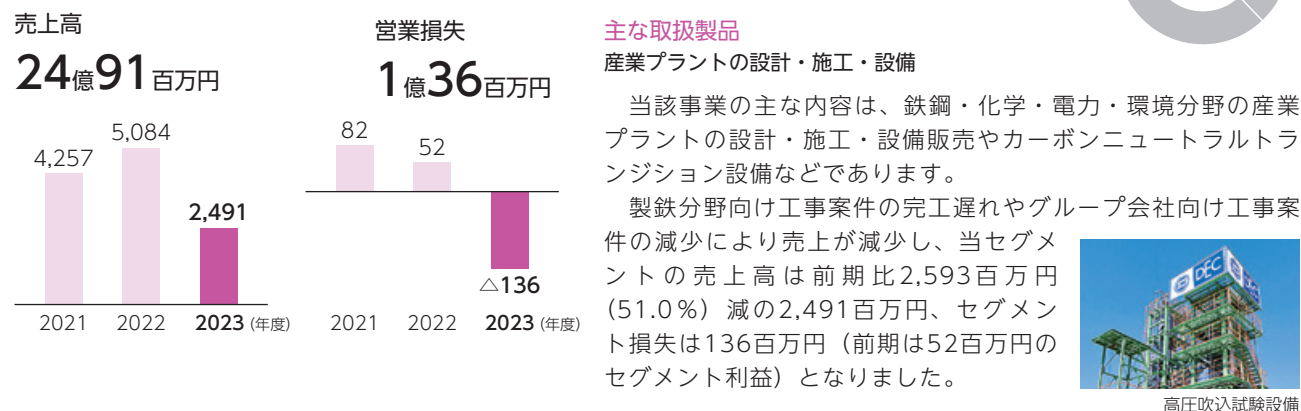


当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

フィルムは、世界的には自動車生産台数が回復したものの流通在庫の消化が遅れており、自動車関連製品の出荷が減少し、前期比減収減益となりました。ステッカーは、ブラジルとインドネシアでの二輪車生産台数の増加により、二輪車関連製品の出荷が増加したものの、ベトナムでの二輪車生産台数の減少により、二輪車向け3Dエンブレムの出荷が減少し、前期比増収減益となりました。再帰反射シートは、欧米や中国での自動車販売台数の回復により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加し、前期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前期比895百万円（5.4%）増の17,498百万円、セグメント利益は前期比512百万円（357.1%）増の655百万円となりました。

エンジニアリング



当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備販売やカーボンニュートラルトラंジション設備などあります。

製鉄分野向け工事案件の完工遅れやグループ会社向け工事案件の減少により売上が減少し、当セグメントの売上高は前期比2,593百万円（51.0%）減の2,491百万円、セグメント損失は136百万円（前期は52百万円のセグメント利益）となりました。

ひがしかづみ
東加積小学校児童が早月工場で見学

SDGsマテリアリティ「地域社会との共存共栄」の取組みの一環として、当社の魚津・早月工場では「地域社会との共存、地域社会から信頼される工場」を目標に、自社の資源を活用した地域貢献を積極的に行っています。

2023年12月、滑川市立東加積小学校の5年生が社会見学のため早月工場へ来工しました。総合管理棟の会議室で会社概要の説明を受けた後、1Fエントランスで製品を確認した児童たちはマーキングフィルムや反射シール、当社のメラミンコンパウンドを使った食器に特に興味があるようでした。

その後は2023年に竣工した多層広幅フィルム製造工場を見学し、社員から説明を受けた後、「フィルムの厚みにムラを出さないためにどのように工夫しているか」や、「製品にゴミが入った場合はどう処理するか」など、疑問に感じたことを積極的に質問していました。



株式会社北陸セラミック「健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）」に認定

2024年3月11日、経済産業省及び日本健康会議が選出する「健康経営優良法人2024」認定企業が発表され、株式会社北陸セラミックが中小規模法人部門で認定されました。当社グループでは初の認定となります。

健康経営優良法人認定制度は、経済産業省及び日本健康会議が、地域の健康課題に即した取組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するため、2016年度に創設されました。

株式会社北陸セラミックでは全国健康保険協会が推進する健康企業宣言に取り組んでおり、健康企業宣言富山推進協議会より2021年1月にStep1、2023年3月にStep2に認定されています。さらに今年度は健康づくり担当者の設置や、健康経営推進計画書の作成などの取組みを推進し、健康経営優良法人に初めて申請し、認定となりました。

パナソニック インダストリー株式会社「SCM 貢献賞」受賞

当社の電子・機能製品事業本部電子素材部が、パナソニック インダストリー株式会社様より「SCM（サプライ・チェーン・マネジメント）貢献賞」を受賞しました。

2023年9月、同社の事業方針説明会にて授賞式が行われ、記念トロフィーを授与いただきました。当日は納入業者約500社の中から技術、品質、納期遵守の優れた7社が表彰されましたが、当社は品質及び納期遵守を評価され、「SCM貢献賞」の受賞となりました。

同社へはチップ抵抗器用のアルミナセラミック基板を納入しており、納入品番及び数量調整、納期に対する要望への対応と品質向上への取組みを高く評価いただいた結果であります。

当社グループのセラミック基板はカーエレクトロニクス向けの抵抗器に多く使用されています。EV化や高機能化（電子化）の進化に技術、品質面に対応することにより、社会貢献できるようこれからも努めてまいります。



会社情報

会社の概要（2024年3月31日現在）

社 設 資 本 営 工	名 立	日本カーバイド工業株式会社 1935年（昭和10年）10月
	金 本	7,797,898,752円
	社 業	東京都港区港南二丁目16番2号
	場 所	大阪
研 究 所 従 業 員 数	場 所	富山県：魚津市、滑川市
		京都府：向日市
		富山県：滑川市
		連結 3,297名 単体 510名

役 員（2024年6月27日現在）

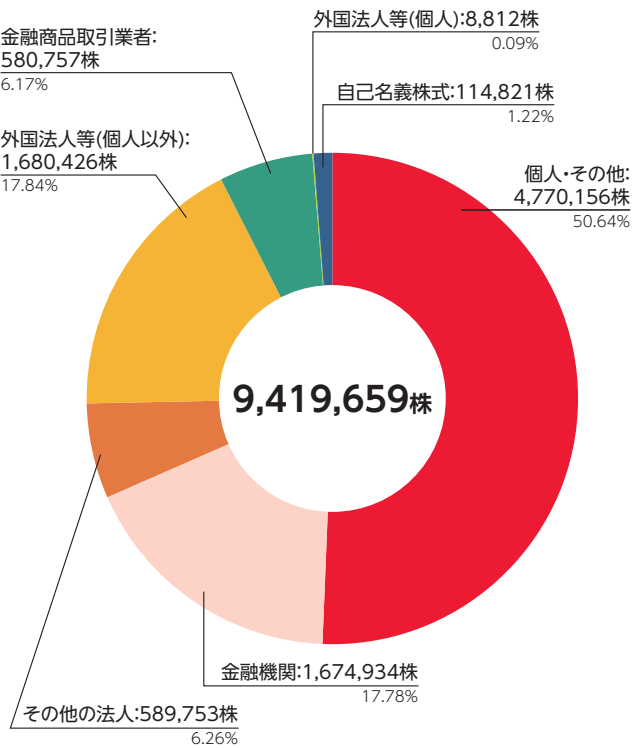
代 表 取 締 役	取 締 役	社 長	杉 山 孝 久
代 表 取 締 役	取 締 役		井 口 吉 忠
取 締 役	取 締 役		長谷川 幸 伸
取 締 役	取 締 役		横 田 祐 一
取 締 役	取 締 役		吉 岡 早 月
取 締 役	取 締 役		門 向 裕 三
常 勤 監 査 役	常 勤 監 査 役		林 文 明
常 勤 監 査 役	常 勤 監 査 役		澤 田 征 洋
監 査 役	監 査 役		江 見 睦 生

株式情報

株式の状況 (2024年 3月31日現在)

発行可能株式総数 12,000,000株
発行済株式の総数 9,419,659株
(注) 当社は、取締役（社外取締役を除く）4名、執行役員5名に対して譲渡制限付株式の付与のため、2023年 7月25日付で普通株式12,833株を発行いたしました。
株主数 10,889名(前期末比757名増)

株主 (所有者別株式分布状況)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿 管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 公告掲載URL https://www.carbide.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご案内▶

ホームページアドレス

<https://www.carbide.co.jp/>



表紙写真 黒部峡谷鉄道のトロッキ電車と新山彦橋